



Profile・山陽小野田市出身・在住。山陽小野田市第1号の手話通訳者。手話奉仕員養成講座の講師も務め、教え子が手話通訳者にもなっている。趣味はナンバープレイス。写真(上部)の手話は「アイラブユー」で小指が「I」、親指と人差し指で「love」、親指と小指で「you」を示している。



▲令和6年11/17の健康フェスタの講演会での手話通訳



▲手話奉仕員養成講座

「きらりと光るまちの人」 SMILE UP!

Vol.57

内田 八重子 さん

UCHIDA YAEKO

「手話」で繋ぐ人と人とのかけはし

Q手話を始めたきっかけは？

A 私は色々な人とおしゃべりをするのが好きです。耳の不自由な人とも会話したいと思ったのが、手話を学び始めたきっかけです。手話は言語の一つですが、英語等の外国語を学ぶより抵抗感がなく、学び始めて3年後には、山口県に認定された手話通訳者になっていました。

Q手話通訳者としてどのような活動をしていますか？

A 山陽小野田市には手話通訳者が4人いて、市主催の講演会や二十歳のつどい等での手話通訳を行ったり、市主催の手話奉仕員養成講座の講師をしたりしています。手話奉仕員とは手話通訳者になる前に必要な資格で、手話で日常会話ができるぐらいの技能や知識を持っています。

Q手話に携わる上で心がけていることは？

A 講演会等での手話通訳は、2～3人で行います。事前に資料をいただき専門用語の手話を調べ、当日は通訳者同士で打ち合わせをして対応しています。手話通訳が必要な人の年齢や背景によって使用する手話表現を工夫しています。相手の立場を100%理解することはできませんが、その努力を惜しまないことをいつも心がけています。

Qこれからの展望は？

A 現在、講師を行っている奉仕員養成講座を通じて市内の耳の不自由な人たちが安心して暮らせるよう、多くの人が日常会話レベルの手話を使えるようになることを望んでいます。耳の不自由なお子さんを持つ保護者にも手話はコミュニケーションを取る有効な手段になるので、手話奉仕員養成講座や市内にある手話サークルに参加し、手話に触れてみてほしいです。

「みんなの笑顔」の写真を募集！



【応募方法】①写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②応募者の氏名(掲載はペンネームでも可)③作品名または15文字程度のコメント④応募者の連絡先(昼間連絡のとれる電話番号)

〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係(☎82-1148)



ペンネーム はたらくるま
楽しいすべり台。もうっかい！



ペンネーム ぴのり
カーペットの上でおねんね